

2020年度 県央地区連絡協議会 第2回幹事会

2021年1月31日（日）10時、海老名市文化会館にて2020年度県央地区連絡協議会第2回幹事会を開催し、総勢10名が出席した。前回の幹事会で確認された各単組最大2名の参加者にし、定員36名の部屋でソーシャルディスタンスが確保された会議運営となりました。



経過報告のあと、幹事会の議題として1. 賃金・労働条件の改善に向けた取り組み、2. 組織拡大の取り組みについて、3. 地域社会制度（政策・制度）の改善要求について、4. 政治への取り組みについてが、協議されました。



1. 賃金・労働条件の改善に向けた取り組みは、2020年秋季年末闘争の概要を確認し、県連の2021春闘方針の内容が確認されました。

2. 組織拡大の取り組みは、労働組合のパフレットやリーフレットが設置できる場所の情報を確認しましたが、情報はありませんでした。

3. 地域社会制度（政策・制度）の改善要求については、①一昨年・昨年取り上げた

改善箇所の進捗状況を最寄りの幹事が確認をして報告がされました。臼井幹事から南橋本4丁目の交差点の右折レーン停止線が、写真のとおり1mくらい下げられたと報告があり確認されました。下今泉交差点の高架下の信号機は、やはり不要という意見が多く、危険な停止行動などを写真や動画を撮るため、実態調査が必要であることが再確認されました。その他の箇所は幹事が欠席されたので次回確認することになりました②整備中の県道については特に要望が無かったので要求しないことになりました。



③あつぎの道づくり計画については、交通渋滞の解消に向けた右折レーンの設置を要望している交差点が多くあり、地区連としては7箇所の交差点を神奈川交運労協を通じて改善要求を行うことを確認しました。

4. 政治への取り組みについては、県連が推薦決定した第49回衆議院選挙立候補者を確認し、相模原地域連合から2名の議員の応援の取り組みについて確認されました。

次回、第3回幹事会は、現在、緊急事態宣言が発令されており、その延長も検討されています。延長の場合はより強い自粛対応になることも想定されます。よって、現時点で日程を決めることは難しく、今後の情勢を経て、日程を決めることになりました。

記：高橋 和彦